

## 化石体験

### 化石体験09

## レプリカづくり 充実めざして

足寄動物化石博物館の定番となった「化石のレプリカづくり」。今年は新しい標本を追加し充実をめざします。

開館時に2種類（デスモスチルスとパレオパラドキシアの臼歯）からはじめましたが、毎年種類を増やし、現在は16種類。人気のアンモナイトや三葉虫をはじめ、マンモスの臼歯や糞化石、もちろん、アショロアやベヘモトプスなど東柱類は充実しています。目標は足寄の中学生が勉強している理科の教科書の地球の歴史年表に登場する化石を網羅することです。現在そろっていない「大物」は **恐竜**。

恐竜は、やはり化石の代表格。幼児から大人まで根強い人気があります。レプリカのリストに加えたい、しかも足寄博物館のテーマとも関連するもの、当然「入手可能な」もの……。ようやく提供できる目処がたちました。具体的な種類は直前に発表しますが、ヒントを。

※今年の夏に千葉県の幕張メッセで開催される  
「世界の巨大恐竜博」  
に出展される恐竜です。

4～5月の連休に間に合うよう  
準備中です。おたのしみに。

4月からレプリカづくりで提供予定の恐竜の歯



# 化石と解剖はどうむすびつくか

## 歯のあるヒゲクジラの研究説明会

日時 平成21年2月15日(日) 午後1時30分～ (1時間程度)

会場 足寄動物化石博物館 デスモホール と化石工房

会費 無料

下記のクジラ解剖会にあわせて、足寄化石群のホープ「歯のあるヒゲクジラ」とミンククジラ胎児の解剖の関係を紹介します。世界でここだけの企画です。

### 新聞記事

#### 道新小学生新聞に 足寄動物化石博物館 紹介

北海道新聞夕刊にはさみ込みの道新小学生新聞に、当館職員の活躍が取り上げられました。

「歯科技工士さんが化石を修復役に立つ義歯づくり技術」などの見出しで、館内化石工房での小松芳幸主査の仕事ぶりが紹介されています。

道内の小学生が化石に興味を持ってくれると期待しています。



### 行事予告

#### 探鳥会の予定

例年4月中旬におこなっている「探鳥会 北へ向かう鳥たち」は、講師のご都合により、4月5日に開催予定です。

**休館日 || 2月 3日 10日 17日 24日 の火曜日**

博物館の動き 2月 (館の行事や職員の動き、来館団体、など)

### クジラ解剖会

2月15日(日)～19日(木)、博物館 化石工房においてクジラ(胎児)の解剖会をおこないます。見学は自由です。